

# 社会の持続的発展に向けた取組み

## 日本電通株式会社

### 1. はじめに

私たち日本電通株式会社（以下NDK）グループは、「情報通信技術と起業家精神で人々が安心して生活のできる環境づくりに貢献する」という経営理念に基づき、新しいサービスや事業に取り組んでいます。私たちが日常的に携わっている仕事そのものが、直接的・間接的にCSRへつながっていることを認識して、自らの業務を通じ「社会的」「経済的」「人間的」価値を創造することで、企業としての社会的責任を果たすよう努めています。

今、情報通信市場では、固定とモバイルのブロードバンド化、スマートフォンの急速な普及など大きな変化と発展が続いていますが、こうした変化はこれからも今まで以上に加速していくものと考えています。当社はこうした情報通信技術を安心・安全・便利にご利用いただくよう取り組むことで、社会の持続的発展に貢献してまいりたいと考えています。また地球的規模での環境問題に対して環境負荷の軽減を目指して事業に取り組んでいます。

以下にNDKグループ一体となったCSRの取組みについて紹介します。

### 2. CSR活動の推進

#### (1) CSRの位置づけと企業理念

私たちは、経営理念に基づき、「挑戦・創造・協調」を行動指針として企業倫理に従って日常生活を遂行していますが、さらに、法的・社会的環境の変化がリスクを顕在化させている現状において法令を正しく理解し遵守することが、消費者、取引先、株主、地域住民、監督官庁などとの良好な関係を維持していくうえで重要であると考えています。

当社は、CSR活動の中でもコンプライアンス（法令遵守）の実践

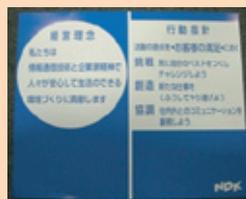
を、経営の最重要課題の1つとして位置づけ、コンプライアンスの徹底により、当社の経営基盤をなすことをベースにコーポレートガバナンス（企業統治）、社会貢献責任を果たしていきます（図1）。

経営理念に基づく行動指針は、人と人の新しいきずなをつなぎ、次の世代の人々の笑顔のために地域や社会とのつながりを大切にしようという従業員へのメッセージとなっています（写真1）。

具体的な活動内容は、「3. わが社のCSR活動」にて紹介します。



図1 日本電通におけるCSR（企業の社会的責任）



◆**経営理念**  
私たちは、情報通信技術と起業家精神で人々が安心して生活のできる環境づくりに貢献します。

◆**行動指針**  
活動の原点をお客様の満足におく  
挑戦 常に自分のベストをつくし チャレンジしよう  
創造 新たな仕事をくふうしてやり遂げよう  
協調 社内外とのコミュニケーションを重視しよう

写真1 経営理念・行動指針

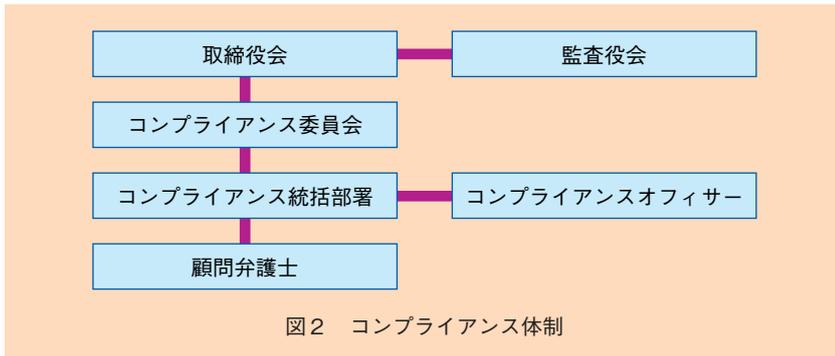


表1 品質認証取得

品質認証／マネジメントシステム	取得年月
【ISO9001】 品質マネジメントシステム	・通信事業部門：JMAQA-266 H11・2・22 ・情報通信部門：JMAQA-173 H10・9・28
【OHSAS18001】 労働安全衛生マネジメントシステム	・H16・2・6
【ISO14001】 環境マネジメントシステム	・H16・3・26
【ISO27001】 情報セキュリティマネジメントシステム	・H18・8・11

(2) コンプライアンス委員会の開催

当社は、コンプライアンス（法令遵守）を経営の最重要課題として位置付け、2004年10月にコンプライアンス委員会を設置し、今日に至っています。

社員が日常業務を遂行する上で遵守すべき行動基準をマニュアルとして制定し、定期的な社内研修など全社を挙げて意識の高揚を図り、また内部通報制度や社外の法律専門家による相談窓口を設置してコンプライアンスの実効性を確保しています（図2）。

さらには、仕事を通して知り得たお客様情報や会社情報、個人情報などあらゆる情報については社員だけでなく、退職者の方にも誓約書を提出していただくことにより、守秘義務に対する理解を深め、情報漏えい防止に努めているところです。

(3) 内部統制研修会の開催

2006年9月に内部統制委員会を設立し、経営者および社員が法令や社内ルールを遵守した業務遂行と各事業本部に責任者や管理者をおいて日常業務での業務プロセスをチェックする体制を構築しています。毎月1回、内部統制委員会を開催し社内における内部統制上の問題点を検討し、内部統制の推進と強化を図っています。

また毎年1回、全社員を対象に内部統制研修会を開催し、内部統制の目的を分かりやすく説明することで、社員の理解と意識の向上を図り、法令や社内ルールの遵守による適正な業務の遂行に努めています（写真2）。

(4) マネジメントシステムの取組み

お客様からも社会からも信頼される企業を目指して、業務の標準化や継続的な改善を図るため、品質・労



写真2 内部統制研修会



写真3 審査登録証の掲示

働安全衛生・環境・情報の各マネジメントシステムの認証取得をしています（表1・写真3）。

3. わが社のCSR活動

(1) 安心と安全を届けるために

通信建設業務において安全と品質確保は重要事項として、人身事故や設備事故が起こらないよう各種の取組みを実施しています。当社では「四つの安全」を基本理念として「第三者に対する安全」「設備に対する安全」「作業員自身に対する安全」「個人情報に対する安全」を念頭において事業を展開しています。また施工部門では平成20年から、NTT西日本様のご指導により、設計業務

～施工に至るプロセスにおいて「きっちり工事運動」の推進を継続して実施しています。

①安全総決起大会の開催

毎年6月、NDKグループで安全意識の高揚とゼロ災でいこうという強い意識合わせを目的に、安全総決起大会を開催しています。大会にはNTT様から講師をお招きし、安全講話をお願いするとともに、各主管部門から安全施策を発表し、協力会社を含めたNDKグループ総体で安全の相互研鑽を図る場としています(写真4)。



写真4 安全総決起大会

②安全パトロールの実施

施工現場の安全パトロールを行い、作業の安全と工事品質の確認作業を実施しています。

安全専任者によるパトロールは、対話型を軸として現場の作業者と対話を通じて安全について考えるひとときをもつとともに、常に安全に作業ができるよう、その一助となれることを配慮して実施しています(写真5)。



写真5 施工現場への安全パトロール

③「安全の日」「ゼロ災の日」の設定

当社では、毎月10日を「安全の日」、毎月21日を「ゼロ災の日」として定め、全社員、決められたそれぞれのリボンを着用し、安全意識の高揚を図っています(写真6)。



写真6 当社の安全リボン

工事部門ではこの日、全体朝礼で安全意識の高揚、一体感の醸成を図っています。また「安全の日」には器具・工具の一斉点検を実施し、点検した証跡に月シールを貼付して確認を行うとともに、各事務所センターでは一斉清掃を行い、安全作業の醸成を図っています(写真7)。

④5S運動の推進

整理整頓は作業の基本として、また作業の効率化にも影響することか

ら、全社で取り組んでいます。今年度NTTビジネスグループでは、朝、社員がパソコンを立ち上げると「5Sの徹底」「四つの安全」等のキーワードが画面にポップアップされ、目に飛び込んできます。1日の始めに目にすることで意識して業務を進めるようにしています(写真8)。

また工事用車両の整理整頓ができている班は、安全面、品質面においても問題が少ないと考えています。日頃の整理整頓状態がお客様の目に



写真7 安全の日の一斉清掃

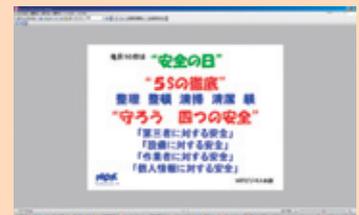


写真8 PCログイン画面



写真9 優良車に貼付されたステッカー



写真10 お客様宅工事

触れ、会社の顔としての位置づけもあることから、「工事車両2Sコンテスト」の実施や、整理整頓優良車には写真のようなステッカーを貼付し模範となってもらうこと、また常に整理整頓の意識をもって作業が行われるように施策を実施しています(写真9)。



写真11 門前での安全チェックと見送り

#### ⑤きっちり工事運動の推進

最近の所外工事ではさまざまな法的義務の拡大、事前申請・許可等の厳格化、事前PRの重要性が高まるなど、施工環境はますます厳しくなっています。このような環境の下、平成20年度からNTT西日本様指導で「KK運動：きっちり工事運動」が展開され、設計書や施工関係資料等へコンプライアンス確認事項の記載、またお客様宅工事では「感謝・感動をいただく取組み」などを展開しています(写真10)。

当社フィールドエンジニアリングセンターでは、平成23年10月から毎朝、工事車両が発発する門前にて安全作業を目的とした「車両の輪止め」「道路使用許可証」等の工事必携品、許可書等の携行チェックを行い、注意喚起をして送り出しています。事務所と現場従事者双方で無事故を願い、きっちり工事の推進に向けて朝の作業が定着化してきています(写真11)。

#### (2) 地域社会に貢献するために

##### ①子ども110番の取組み

子どもたちがトラブルに巻き込まれそうになった時、助けを求めてかけ込むことができるように、大阪府をはじめ、各自治体警察署、地域社会が連携して実施している「子ども110番運動」(社用車に限定した運動)に平成20年、いち早く参加しました。

現在、NDKグループとして営業車や工事車両500台以上に「子ども110番」のステッカーを貼付し、営業活動や工事で、地域を巡回しながら、子どもたちを見守ることで安心感を与え、交通事故や犯罪被害から子どもたちを守る活動により安心して暮らせる地域社会を目指しています(写真12)。

##### ②献血活動への協力

社会貢献の一環として、平成9年11月から現在まで約30回にわたり、



写真12 「子ども110番」ステッカー

団体献血協力活動を行ってきました。長期間にわたる社内の恒例活動として実績を重ね、平成24年8月に大阪府様から高い評価を受け、献血運動推進による感謝状をいただきました。

本社では赤十字移動献血車や事務所を開放して社員に参加いただいています。より多くの社員に献血に関心をもってもらうこと、また命の尊さを感じてもらうためにも、今後も献血活動を充実したものにしてい

きたいと考えています (写真13)。

③地域消防活動の取組み

●大阪港区「自衛消防技術競技会」への参加

毎年10月に開催される、大阪港区自衛消防協議会主催による「自衛消防技術競技会」は当社を含む多数の企業が参加しています。

事業所内で火災が発生したという想定で消火設備を迅速・的確に活用して模擬消火活動を行う競技大会ですが、各出場チームとも「自分たちの職場は自分たちで守る」という原則のもと、真摯に取り組み、習熟された技術や所要時間を競い合います (写真14)。

●京都支店「自衛消防訓練」の取組み

毎年10月には京都市山科消防署指導のもと「自衛消防訓練」を実施し、避難訓練、消火器操作訓練に加え、AED操作訓練を実施しています。

また地域貢献の一環として京都市が取り組む「安心救急ネット京都」への登録およびAEDマークの掲示を実施しています。

昨年度は山科消防署様より「誰もが安心して暮せるまち山科」の実現に向けて尽力した事業所として「優良事業所表彰」を受けています (写真15)。

④交通安全運転講習会の開催

毎年1回、大阪港警察署様から交通警察官を招聘し、道路交通法令の改正や最近の交通事故の発生状況等について説明を受けています。悲惨な事故、発生実態に応じた具体的な防止対策などについて講義を受け、各種交通事故の防止と法令遵守に努めています (写真16)。

(3) 地球環境の負荷軽減のために  
地球温暖化防止など地球環境に優



写真13 仕事の合間の献血活動



写真14 自衛消防技術競技会



写真15 自衛消防訓練とAED救命措置

しい施策を展開し、環境保護に取り組んでいます。

①太陽光発電システムの利用

再生エネルギーの利用促進施策として、当社フィールドエンジニアリングセンターの屋上に産業用太陽光パネルを120枚設置し、年間最大2万kwの発電容量を備えています。事務所すべての電気を賄うことはできませんが、当社の節電への取組みとして今後も大いに活用していきたいと考えています (写真17)。



写真16 本社での講習会

②カーシェアリングの活用

フィールドエンジニアリングセンターや京都支店では多くの工事車両



写真17 屋上の太陽光パネルと発電状況のお知らせ

を保有していますが、駐車スペースや環境資源の有効利用、ガソリン経費の削減など多くの課題が出てきたことから、1台の車両を複数の部署、社員で共同利用する新しい自動車の利用形態：社内カーシェアリングを実施しています。多くのメリットを期待して平成23年8月から大阪・京都の各拠点で運用を開始し、業務都合もあり全車ではありませんが、運用ルールが定着しつつあり、車両の有効活用、車両の削減、燃料経費の削減等に効果が出ています。

ほとんどフル活用に近い状態も一部車両で見られますが、多くの効果が得られることから、今後も取組みを進めていきたいと考えています。

### ③節電施策の推進

本社ビルでは節電への取組みの一環として、「階段でいこう 3アップ4ダウン運動」を展開しています。これは「CO<sub>2</sub>削減」と「社員の運動不足解消」の観点から、エレベータでの上りの3階と下りの4階は、階段を積極的に利用する運動として平成20年度に開始されました。もともとは2アップ3ダウンでしたが、昨年度から「3アップ4ダウン」にバージョンアップしています。

当初はいろいろな意見もありましたが、今では社員もさりげなく実践できるようになり、節電効果とともに



写真18 エレベータ付近に掲示

に社員の健康管理につながっているものと考えています（写真18）。

### (4) 社員の健康と技術力向上のために

かけがえのない財産である社員の健康維持、次代を担う若手社員への技術継承など、健康管理と技術力アップに向けた取組みを紹介しします。

#### ①朝のストレッチ体操

当社では全事業所で毎日の朝礼時、まず最初に5分程度のストレッチ体操を行っています。このストレッチ体操は15年前、体育会系出身者が集まり、大学等で行っているストレッチを選りすぐってでき上がったNDKオリジナルの体操です。

肩や腰、手から足への全身をストレッチできる体操ですが、朝一番に



写真19 朝礼前のストレッチ体操

行うことからテンションを上げ、体が軽くなった状態で仕事に向かうことができるので、日頃PCに向かう作業が多くなっている環境から運動不足の解消の1つにつながっています（写真19）。

#### ②瞑想の部屋

本社ビルに「瞑想の部屋」と呼ばれる部屋があります。「禅に親しむ会」として週に1回有志が集まり、座禅をしています。日常の忙しい業務から解放されての座禅は、平常心の維持や集中力の強化に役立ち、リフレッシュやポジティブな思考法を身につけることにつながるとの脳科学者による研究報告もあるそうです。最近は、年配者だけでなく若手社員の参加者も増えています（写真20）。

#### ③技術力向上に向けて

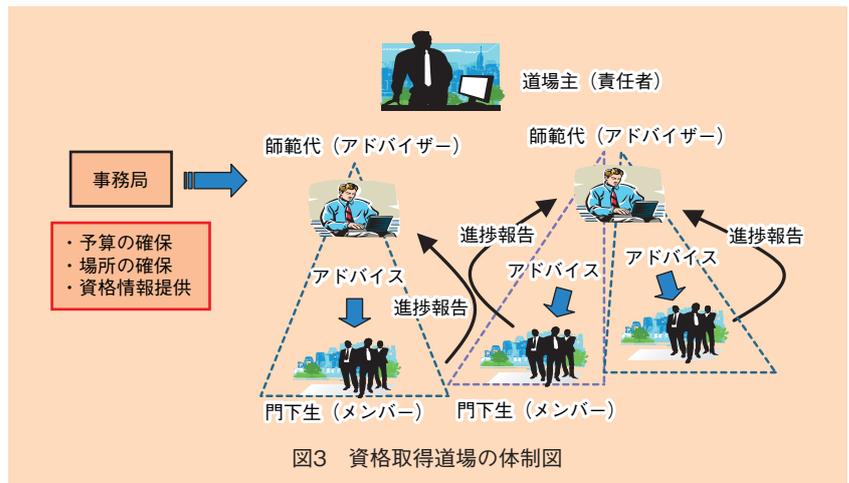
当社は、これまで社員の資格取得を奨励するため、支援制度を制定し



進めてきましたが、世代を超えた技術力伝承の仕組みを活かして「資格取得道場」を設立しています。

各種資格の中で、当社にとって重要な資格を設定し、道場で集中的に指導を行うこととしました。社員の利便性を考え、現在2つの道場を設置し、各道場には道場主の下に各資格別に資格保有者を師範代として設置し門下生の指導を行っています。

運営は門下生がチームを結成し、師範代の指導の下で学習スケジュールを作成、自発的に活動を行い、師範代にいつでも指導を受けて勉強できるようにしています。



現在は若手社員が多数参加し、日々仕事を行いながら時間を作り勉強を行っており、門下生の努力が報われる日が近いと期待しているところです (図3)。

#### 4. おわりに

当社は昭和22年の創業以来、今年で65周年を迎えました。これからも建設工事会社として安心・安全なサービスを提供し続けることで地

域に愛され、お客様のよきパートナーでありたいと考えています。今後も成長する情報通信市場に適応し、NDKグループの総合力を活かして市場開拓にも取り組んでまいります。

紹介した取組みはわずかですが、当社に相応しいCSRの取組みを積み重ねて展開することで社会の持続的発展に向けて貢献していきたいと考えています。

